


## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立青森第一高等養護	学校
授業について	教科領域名 ( <input checked="" type="checkbox"/> 又は <input checked="" type="checkbox"/> で 記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	買い物しよう		
	単元(題材)の目標	設定した金額に収めて買い物ができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1・2 年 6 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 ・知的代替の教育課程の生徒。 ・「見えづらさ」「聞こえづらさ」をもっている生徒がいる。 ・金種は分かるが、買い物の合計を計算するのは難しい。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 iPad		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 音声電卓		アプリマーク 
	主な活用の用途 ( <input checked="" type="checkbox"/> 又は <input checked="" type="checkbox"/> で 記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	・数字や四則計算を音声で読み上げてくれることで、不確かだった電卓による計算を確認しながら利用できる。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ・実際に2～3回活用したことで、すぐに使用に慣れて自分からタブレットを開いて準備するようになった。 ・読み上げてくれる音声のスピードを調節できる機能があり、生徒に合わせて活用することができた。 ・それでも見えづらく、触覚を頼りにする生徒にとっては、実物の音声電卓が必要だったが、触れることで音声で教えてくれたり、計算ができることで、学習意欲は引き出すことができたと考えている。			